



交運労協ニュース No. 4

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階

発行日 2023年11月21日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 慶島 譲治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

交運労協定期国際交流事業

韓国運輸物流労働組合総連合会が来日！

日韓共通の課題は「人手不足」と「長時間労働」！

11月13日、「韓国運輸物流労働組合総連合会」(CKTLU)の代表団が来日し、交運労協と意見交換を行った。かねてよりCKTLUと交運労協は定期的に相互訪問・交流していたが、コロナ禍もあり実に4年ぶりの交流再開となった。

冒頭、住野議長より歓迎の挨拶を行った後、CKTLUのソ・ジョンズ団長から受け入れに対するお礼と日韓共通で抱える課題解決への期待が述べられた。



会場の様子



挨拶する住野議長



挨拶するソ団長

続いて、交運労協ならびにCKTLUの組織体制と活動紹介を相互に行った後、意見交換を行った。

(意見交換要旨) ※C:CKTLU 交:交運労協

C: コロナ禍の際、韓国ではバス、タクシー、観光サービスや航空などの労働者に対し雇用維持支援金が支給された。日本では、このような支援策はあったのか？

交: もともと雇用調整助成金という制度があったが、コロナ禍において1日当たりの上限を最大15,000円とするなどして、雇用と生活は何とか確保できた。

C: 韓国でもタクシー運転手の低賃金と長時間労働が解消されず、離職者の多さにつながっている。ナショナルセンターである韓国労働組合総連盟が料金引き上げや深夜割増の設定を導入するよう政府に働きかけて実現した。

交: 15年ぶりに運賃改定を15%の水準で行った。運転手不足については、コロナ罹患のリスクがあり高齢者を中心に2万人減少した。

一方でタクシーを運転できる資格(2種免許)を保有しているのに、乗務していない方が10万人いる。政府はタクシー不足を理由にライドシェアを入れようとし

ているが、私たちはまずこの10万人にハンドルを持ってもらうことが必要だと訴え、ライドシェアに反対している。

韓国では、2018年にタクシー運転手が焼身自殺をしてライドシェアに対抗したと聞いている。皆さんの知恵もお借りしてライドシェア導入を阻止したい。

C：労働者不足は韓国でも課題になっている。海上船員では政・労・使が三つ巴で対立している。韓国政府としては、外国人労働者の枠を拡大することで人手不足を解消しようとしているが、労働組合は反対している。労使で雇用の質を確保するための基金を設立することで妥協を模索しているが、政府は外国人雇用を緩和しようとしている。状況は厳しいが私たちはこういった流れを遅らせる努力をしている。日本の状況はいかがか。

交：日本でも労働者不足のさなか外国人の活用という考え方はある。ただし、特定技能という厳格な在留資格として14分野の決められた業務と付随する業務に限り認められ、従事する仕事も専門性や高度な技能を必要とした業種に限られる。おそらく、政府は業種を拡大したいと思われるが、現時点では具体的な提案はない。それよりも日本の労働者の長時間労働、低賃金の解消が先だと考える。

最後に産業の未来、労働安全衛生、サプライチェーンにおける説明責任や持続可能な交通運輸についての諸課題を引き続き共有し、相互の継続的な交流と連帯を築いていくことを確認して意見交換会は終了した。

CKTLU代表団は翌日11月14日以降、東京港の視察や都内・京都の観光施設の視察などを行い、11月17日、無事帰国の途に就いた。



記念品の交換



参加者の皆さん



東京港視察の様子

<韓国運輸物流労働組合総連合会>

2011年7月28日、ソウルにて設立。加盟組織は「全国自動車労働組合連盟」「全国タクシー労働組合連盟」など13組織、加盟人員数は468,854人。

韓国のナショナルセンター「韓国労働組合総連盟」に加盟している。

以上